

我が国のラムサール条約湿地

No.	登録湿地名	所在地	登録年月日	面積 (ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
1	宮島沼	北海道 美瑛市	H14. 11. 18	41	大規模マガン 渡来地	・国指定宮島沼鳥獣保護区 宮島沼特別保護地区	北海道の中央部よりやや西方に位置。石狩川の河跡湖沼群の一部。シベリア等北半球の繁殖地を往復するガンカモ類、ハクチョウ類の中継地として国際的に重要。日本で越冬するマガンのほとんどが宮島沼を中継地として利用。
2	雨竜沼湿原	北海道 雨竜町	H17. 11. 8	624	高層湿原	・暑寒別天売焼尻国立公園 特別保護地区	北海道の中西部に位置。山地型高層湿原としては我が国でも有数の面積規模を誇る。湿原の中央にはペンゲベタン川が多数の池塘群と浮島を縫うように蛇行して流れている。水生、湿原性及び高山性の植物群が混交するなど自然性の高い優れた景観を呈している。
3	サロベツ原野	北海道 豊富町 幌延町	H17. 11. 8	2,560	高層湿原、オオヒシクイ、コハクチョウ渡来地	・国指定サロベツ鳥獣保護区 サロベツ特別保護地区 ・利尻礼文サロベツ国立公園 特別保護地区及び特別地域	北海道の北部に位置。泥炭地上に成立した高層湿原、中間湿原、低層湿原及び沼で構成。低地の平野部でよく発達した高層湿原が特徴。ペンゲ沼及びペンゲ沼周辺は水鳥の繁殖地、特に春秋にはヒシクイやコハクチョウなどガンカモ類の重要な渡りの中継地である。
4	クッチャロ湖	北海道 浜頓別町	H1. 7. 6	1,607	大規模ガンカモ渡来地	・国指定浜頓別クッチャロ湖 鳥獣保護区浜頓別クッチャ ロ湖特別保護地区	北海道の北部に位置。周囲27km、海岸砂丘地で海と隔てられたオホーツク海岸線最大の海跡湖。寒地性の水生植物マリモが分布。冬期、シベリアから南下するハクチョウ類、ガンカモ類の最初の中継地。特に、日本で越冬するほとんどのコハクチョウ（約1万羽）がこの湖を經由。
5	濤沸湖	北海道 網走市 小清水町	H17. 11. 8	900	低層湿原、湖沼、大規模オオハクチョウ・オオヒシクイ等渡来地	・国指定濤沸湖鳥獣保護区 濤沸湖特別保護地区 ・網走国立公園特別地域	北海道の東部に位置。砂嘴の発達によって形成された海跡湖であり、汽水湖である。また藻場や塩性湿地も発達している。また、ガンカモ類、シギ・チドリ類等の有数の渡り鳥の渡来地である。オジロワシ、オオワシの越冬が確認されているほか、タンチョウの繁殖も確認。
6	ウトナイ湖	北海道 苫小牧市	H3. 12. 12	510	大規模ガンカモ渡来地	・国指定ウトナイ湖鳥獣保護区 ウトナイ湖特別保護地区	北海道の南西部に位置。周囲17kmの淡水・海跡湖である。湖岸水辺にヨシ、スゲ、マコモ、フトイ等の挺水植物群が分布し、湖岸を落葉広葉樹が占める。渡りの我が国で有数の中継地で、ハクチョウ類、ガンカモ類が数千羽飛来し、繁殖する鳥類は250種以上である。
7	釧路湿原	北海道 釧路市 釧路町 標茶町 鶴居村	S55. 6. 17	7,863	低層湿原、タンチョウ生息地	・国指定釧路湿原鳥獣保護区 釧路湿原特別保護地区 ・釧路湿原国立公園特別保護地区及び特別地域	北海道の東部に位置。湿原の80%はヨシ・スゲ群落とハンノキ林が特徴の低層湿原である。ミズゴケが生育する高層湿原もわずかではあるが分布。カモ類、ハクチョウ類の越冬地、渡りの中継地であり、タンチョウの主な繁殖地でもある。さらにシマフクロウ、オジロワシ、オオワシ等の大型鳥類も生息。
8	厚岸湖・別寒辺牛湿原	北海道 厚岸町	H5. 6. 10	5,277	低層湿原、大規模オオハクチョウ・ガンカモ渡来地、タンチョウ繁殖地	・国指定厚岸・別寒辺牛・霧多布鳥獣保護区 厚岸・別寒辺牛・霧多布特別保護地区	北海道の東部に位置。汽水湖である厚岸湖とそれに流入する別寒辺牛川周辺のヨシ・スゲを中心とする低層湿原であり、中央部は部分的に高層湿原。海岸沿いには塩性湿地が発達。タンチョウの繁殖地も分布し、厚岸湖は冬でも全面凍結しないため、オオハクチョウの国内最大級の越冬地である。
9	霧多布湿原	北海道 浜中町	H5. 6. 10	2,504	高層湿原、タンチョウ繁殖地	・国指定厚岸・別寒辺牛・霧多布鳥獣保護区 厚岸・別寒辺牛・霧多布特別保護地区	北海道の東部に位置。ミズゴケ泥炭地を基盤とする高層湿原と満潮時に海水が流入する2つの汽水湖から構成される。オオハクチョウ、ヒシクイ等ガンカモ類、ハクチョウ類が多数渡来する。また、タンチョウの繁殖地も分布する。
10	阿寒湖	北海道 釧路市	H17. 11. 8	1,318	淡水湖、マリモ生育地	・阿寒国立公園特別保護地区 及び特別地域	北海道の東部の内陸部に位置。火山活動によって形成された広大なカルデラ湖。マリモなど希少な藻類の生育地であり、アジアにおける天然分布の南限となるヒメマスやイトウなどの魚類やカワシンジュガイなど二枚貝類の重要な生息地である。

No.	登録湿地名	所在地	登録年月日	面積 (ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
11	風蓮湖・春国岱	北海道 根室市 別海町	H17.11.8	6,139	汽水湖、低層 湿原、藻場、 タンチョウ繁 殖地、大規模 キアシシギ・ オオハクチョ ウ等渡来地	・国指定風蓮湖鳥獣保護区 風蓮湖特別保護地区	北海道の東部に位置。風蓮湖は根室湾につな がる汽水湖で干潟とアマモ場が発達。春国岱 は、風蓮湖と根室湾の間に形成された砂州で あり、アカエゾマツ林やハマナスの大群落が 発達。これらの森林、草地、塩性湿地、干潟 等は鳥類の良好な生息環境となっており、渡 り鳥の渡来及び中継地として重要である。
12	野付半島・野付 湾	北海道 別海町 標津町	H17.11.8	6,053	塩性湿地、低 層湿原、藻 場、タンチョ ウ繁殖地、大 規模コクガ ン・ホオジロ ガモ等渡来地	・国指定野付半島・野付湾 鳥獣保護区野付半島・野 付湾特別保護地区	北海道の東部に位置。野付半島は根室海峡に 突き出た釣ばり状の砂嘴であり、その延長は 日本最大で28km。野付湾は、野付半島と北海 道本土との間に形成されている。湾内の平均 水深は4mであり、広大な干潟及びアマモ場 が形成されている。当該区域は渡り鳥の大規 模な渡来地となっているほか、タンチョウの 繁殖地となっている。
13	仏沼	青森県 三沢市	H17.11.8	222	オオセッカ繁 殖地	・国指定仏沼鳥獣保護区 仏沼特別保護地区	青森県の東部、下北半島の太平洋側に位置す る小川原湖と海岸砂丘に挟まれた干拓地。ヨ シを優占種とする低層湿原。オオセッカ、コ ジュリン、オオヨシゴイなど希少な鳥類の繁 殖地及び渡来地となっている。また、水鳥等 渡り鳥の中継地ともなっている。
14	伊豆沼・内沼	宮城県 栗原市 登米市	S60.9.13	559	大規模マガ ン等ガンカモ 渡来地	・国指定伊豆沼鳥獣保護区 伊豆沼特別保護地区	宮城県の北部に位置。水深1m、マコモ、ヨシ 等の挺水植物群落、ハス、ヒシ、ヒルムシロ 等の水生植物が繁茂する淡水湖沼である。マ ガン、ヒシクイ、マガモ等有数のガンカモ類 の越冬地であり、ハクチョウ等30種以上の野 鳥が生息する。
15	蕪栗沼・周辺水 田	宮城県 栗原市 登米市 田尻町	H17.11.8	423	大規模マガ ン等ガンカモ 渡来地	・国指定蕪栗沼・周辺水田 鳥獣保護区蕪栗沼特別保 護地区	宮城県の北部に位置する。北上川の支流であ る旧迫川の氾濫源に形成された自然遊水池の 沼及びその周囲の水田地帯である。マガン、 オオヒシクイ、オオハクチョウ及びカモ類の 越冬地として全国でも最大級の規模を持つ。
16	化女沼	宮城県 大崎市	H20.10.30	34	ダム湖、ヒシ クイ(亜種)、 マガン 等の渡来地	・国指定化女沼鳥獣保護区 化女沼特別保護地区	宮城県北部に位置し、水害防止と農業用水の補 給を目的としたダムの水面部分である。ガンカ モ類を始めとする渡り鳥の重要な越冬地とな っており、特に、ヒシクイ(亜種)は毎年2千羽以上、マ ガンは毎年3千羽以上の越冬が確認されてお り、東アジア地域個体群の個体数の1%以上を 支える。
17	大山上池・下池	山形県 鶴岡市	H20.10.30	39	ため池、マガ モ、コハク チョウ等の渡 来地	・国指定大山上池・下池鳥 獣保護区大山上池・下池 特別保護地区	山形県西部に位置し、灌漑用ため池として維 持管理されている湖沼の水面部分である。ガ ンカモ類を始め多くの渡り鳥の全国的に重要 な越冬地となっており、特に、マガモは毎年2万 羽から3万羽、コハクチョウは毎年千羽から3千羽 の飛来が確認されており、東アジア地域個体群 の個体数の1%以上を支える。
18	尾瀬	福島県 檜枝岐村 群馬県 片品村 新潟県 魚沼市	H17.11.8	8,711	高層湿原	・日光国立公園特別保護 地区及び特別地域	東京の北方約140kmに位置。尾瀬ヶ原及び尾 瀬沼を中心とする集水域の山岳、森林及び小 規模な湿原で構成。尾瀬ヶ原は高層湿原を主 体とする湿原としては我が国最大。トンボ類 や甲虫類の多様性も高く、周囲の山岳と湿原 が織りなす景観は広大で美しく、季節により 様々な花が見られるなど湿原特有の動植物に 恵まれた貴重な自然環境を持つ。
19	奥日光の湿原	栃木県 日光市	H17.11.8	260	高層湿原	・日光国立公園特別保護 地区及び特別地域	栃木県の北方に位置。戦場ヶ原、小田代原、 湯の湖及び湯川で構成されている。戦場ヶ原 は本州最大級の高層湿原である。小田代原は 湿原から草原へと遷移過程にあり、湿原と草 原の双方の特色を持っている。湯の湖は周囲 3kmほどの湖で、湖底からは湯元温泉の温泉 水が湧き出している。
20	谷津干潟	千葉県 習志野市	H5.6.10	40	泥質干潟、シ ギ・チドリ渡 来地	・国指定谷津鳥獣保護区 谷津特別保護地区	東京都心から30分ほどの近さに位置。住宅 地、高速道路に取り囲まれた東京湾に残され た数少ない干潟である。全国でも有数のシ ギ・チドリ類の渡来地である。都心からも近 く鳥類などの観察地として多くの人々に親し まれている。

No.	登録湿地名	所在地	登録年月日	面積 (ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
21	佐潟	新潟県 新潟市	H8. 3. 23	76	大規模ガンカモ渡来地	・佐渡弥彦米山国定公園特別地域	新潟県の中央部の日本海側に位置。砂丘の形成期に砂丘間の凹部にできた湖で、地下水の湧水によって維持されている。ハクチョウ類、オオヒシクイ、マガン等の多くのガンカモ類の有数の集団渡来地である。
22	瓢湖	新潟県 阿賀野市	H20. 10. 30	24	ため池、コハクチョウ、オナガガモ等の渡来地	・国指定瓢湖鳥獣保護区 瓢湖特別保護地区	新潟平野のほぼ中央に位置し、江戸時代に灌漑用ため池として造成された瓢湖と、近年瓢湖に隣接して造成された東新池、あやめ池、さくら池から構成されている。毎年、ハクチョウ類が約6千羽渡来しており、特にコハクチョウは東アジア地域個体群の個体数の1%以上を支える。また、オナガガモを始めとするカモ類も多く渡来し、ハクチョウ類を含むガンカモ類の渡来数は約1万8千羽を数える。
23	片野鴨池	石川県 加賀市	H5. 6. 10	10	大規模ガンカモ渡来地	・国指定片野鴨池鳥獣保護区 片野鴨池特別保護地区 ・越前加賀海岸国定公園特別地域	石川県の西部に位置。池及び休耕田からなり、周辺は樹林帯である。マガン、ヒシクイ、マガモ、トモエガモ等のガンカモ類が渡来するほか、オオタカ、オジロワシなどの猛禽類も見られる。
24	三方五湖	福井県 若狭町 美浜町	H17. 11. 8	1,110	固有魚類生息地	・若狭湾国定公園特別地域	福井県の南西部に位置。若狭湾沿いのリアス式海岸に所在する湖の集まりであり、三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖及び日向湖の5つの湖から成る。湖はすべてつながっているが、それぞれ塩分濃度や面積、深さが異なる。このため、5つの湖には異なる魚種が生息する。また、タモロコ、イチモンジタナゴ等の固有種の魚が生息する。
25	藤前干潟	愛知県 名古屋市長屋村 飛島村	H14. 11. 18	323	河口干潟、シギ・チドリ渡来地	・国指定藤前干潟鳥獣保護区 藤前干潟特別保護地区	愛知県の西部に位置。庄内川・新川・日光川の河口を中心とする地域で、伊勢湾奥部に残された唯一の大規模な干潟。特に、シベリア等北半球の繁殖地とオセアニア等、南半球の越冬地を往復するシギ・チドリ類の中継地として重要で、国内でも最大規模のシギ・チドリ類の中継地である。
26	琵琶湖	滋賀県 大津市 彦根市 長浜市 近江八幡市 草津市 守山市 野洲市 高島市 米原市 志賀町 能登川町 湖北町 びわ町 高月町 木之本町 西浅井町 安土町	H5. 6. 10	65,984	淡水湖、大規模ガンカモ渡来地、固有魚類生息地	・琵琶湖国定公園特別地域	滋賀県の中央部に位置。我が国最大の湖沼で、70種を超える水生植物が生息する。魚類はホンモロコ、ニゴロブナ等11種の固有種を含め53種が生息する。毎冬、コハクチョウ、ヒシクイ等4万羽を超える水鳥類が渡来する。
27	串本沿岸海域	和歌山県 串本町	H17. 11. 8	574	非サンゴ礁域のサンゴ群集	・吉野熊野国立公園海中公園地区 及び普通地域	和歌山県の南端部周辺のサンゴ群集が見られる海域。当該海域は黒潮の強い影響下にあり、本州中部という非サンゴ礁域に位置しながら熱帯性生物群集が豊富に見られる。特にサンゴは被度・多様性がともに高く、学術的に重要な群集が多い。
28	中海	鳥取県 米子市 境港市 島根県 松江市 安来市 東出雲町	H17. 11. 8	8,043	大規模コハクチョウ・ホシハジロ・キンクロハジロ・スズガモ渡来地	・国指定中海鳥獣保護区 中海特別保護地区	鳥取県と島根県にまたがって位置する汽水湖。面積は我が国で5番目に大きく、様々な海藻類、魚類及び貝類が生息する。我が国でも最大級のガンカモ類の越冬地であり、ハクチョウ類、シギ・チドリ類、猛禽類等の渡りの中継地及び越冬地である。
29	宍道湖	島根県 松江市 出雲市 斐川町	H17. 11. 8	7,652	大規模マガン・スズガモ渡来地	・国指定宍道湖鳥獣保護区 宍道湖特別保護地区	島根県の東部に位置する汽水湖。面積は我が国で7番目に大きく、周囲は45kmある。我が国でも最大級のガンカモ類の越冬地であるとともに、食用のヤマトシジミが多く生息することで知られ、その漁獲量は日本一である。

No.	登録湿地名	所在地	登録年月日	面積 (ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
30	秋吉台地下水系	山口県美祢市	H17.11.8	563	地下水系・カルスト	・秋吉台国定公園特別地域	山口県の中央部に位置。日本では最大規模のカルスト地形。地下水系は秋芳洞を始めとする多くの洞窟や洞窟内の見事な洞窟生成物を作り出している。洞窟内にはユビナゴウモリ等6種類のウモリや、アキヨシシロアヤトビムシ等の洞窟性動物が生息する。地下水はホラアナミジンコ類、ミジンコ類等地下水棲貝類の種の多様性が高い。
31	くじゅう坊ツル・タダ原湿原	大分県竹田市九重町	H17.11.8	91	中間湿原	・阿蘇くじゅう国立公園特別保護地区及び特別地域	大分県の西部に位置。タダ原及び坊ツルの2箇所の湿原からなる。九重火山群に囲まれた盆地状の土地や山麓湧水地に形成された中間湿原である。山岳地に形成された中間湿原としては国内最大級の面積を有し、多様な地質・地形を反映した植生が分布。
32	藪傘田池	鹿児島県薩摩川内市	H17.11.8	60	ベッコウトンボ生息地	・藪傘田池ベッコウトンボ生息地保護区管理地区	鹿児島県の北西部に位置。標高300mに位置する火口湖である。湖の北西部はツルヨシ、マコモ等からなる低層湿原になっており、多数の泥炭質の浮島が存在する。希少種のベッコウトンボをはじめとするトンボ類が多数見られる。
33	屋久島永田浜	鹿児島県屋久島町	H17.11.8	10	アカウミガメ産卵地	・霧島屋久国立公園特別地域	鹿児島県の屋久島北西部に位置。当該区域は島内最長の砂浜である。砂浜は2つの部分に分けられ、永田川河口を挟んで南側に延長約1km、北側に延長約2kmの範囲となっている。アカウミガメが北太平洋で最も多く上陸し産卵する。
34	漫湖	沖縄県那覇市豊見城市	H11.5.15	58	河口干潟、クロツラヘラサギ渡来地	・国指定漫湖鳥獣保護区漫湖特別保護地区	沖縄本島の南部に位置。那覇市と豊見城市の市街地の中を流れる国場川と鏡波川の合流点に広がる河口湖であり、干潮時に大規模な干潟が出現する。シギ・チドリ類、カモ類、クロツラヘラサギなど水鳥など渡り鳥の中継地として重要な渡来地。
35	慶良間諸島海域	沖縄県渡嘉敷村座間味村	H17.11.8	353	サンゴ礁	・沖縄海岸国定公園海中公園地区	沖縄本島から20～40km西方に位置。大小の島々からなる慶良間諸島の沿岸域。よく発達した裾礁が中心となっている。海中にはテーブル状、枝状、角状、塊状、被覆状等の造礁サンゴが高い密度で分布。また、スズメダイ類、チョウチョウウオ類、ペラ類等の色彩豊かなサンゴ礁特有の魚類が豊富に生息。
36	久米島の溪流・湿地	沖縄県久米島町	H20.10.30	255	溪流及びその周辺の湿地、森林、キクザトサワヘビの生息地	・宇江城岳キクザトサワヘビ生息地保護区管理地区	沖縄本島の西方約100kmに位置している。久米島の宇江城岳を源流とする溪流及びその周辺の湿地、森林を中心とする地域である。日本で唯一の淡水生のヘビであるキクザトサワヘビをはじめとする希少野生生物の重要な生息地となっている。
37	名蔵アンバル	沖縄県石垣市	H17.11.8	157	マングローブ林・河口干潟	・国指名蔵アンバル鳥獣保護区名蔵アンバル特別保護地区	沖縄県石垣島西部に位置。名蔵川河口部の干潟及びマングローブ林を中心とした地域。亜熱帯地域における典型的かつ多様な自然環境がまとまって存在。シギ・チドリ類などの水鳥、八重山諸島特有の猛禽類、森林性鳥類等多様な鳥類の生息地となっている。また、底生動物、甲殻類等の多様性が高い。